

## 令和3年度「豊かな環境づくり大阪府民会議」運営委員会 議事概要

日 時：令和4年2月21日（月）14:30～17:30

場 所：WEB会議システムによる開催

出席者：別添名簿のとおり

### 【第1部】「豊かな環境づくり大阪府民会議」運営委員会

（●：委員発言）

#### （1）令和3年度「豊かな環境づくり大阪府民会議」の取組報告について

事務局から、資料1に基づき説明。議案について、一同了承。

意見・質疑は以下の通り。

- 府民会議のSNSアカウントを広く知ってもらうには、新たな取り組みが必要と考えられるが、いかがか。

→（事務局）ゼロカーボン・ダイアログなどのイベント開催時に、フォロワーを多く持つ出演者等に情報発信してもらっているが、今後はSNSのノウハウを持つコンサルタントやインフルエンサーにもアドバイスをいただきたいと考えている。

#### （2）「豊かな環境づくり大阪行動計画（案）」について

事務局から、資料2に基づき説明。議案について、一同了承。

意見は以下の通り。

- 生物多様性で重要なのは、一見関係なさそうなものが実はつながっているという視点。海洋プラスチックごみでも分かるように、内陸地域も川を通じて海とつながっている。それ以外にも消費者と生産者、事業者と市民など様々なつながりがあり、このようなつながりを府民会議でクローズアップすることが必要。

また、府民会議の構成員が自身の具体的行動に結びつけるためにひと工夫が必要。

#### （3-1）令和4年度「豊かな環境づくり大阪府民会議」の取組みについて

事務局から、資料3-1に基づき説明。意見等なく、議案について、一同了承。

#### （3-2）今後の府民会議のあり方について

事務局から、資料3-2に基づき説明。

- 運営委員・会員の相互間で、府民会議を活用した連携ができていない。また、行動計画についても、各団体で実施しているものの、府民会議と連携しているという実感が乏しい。今後、府民会議を活用して、運営委員・会員の間を取り持つような取組みをしていただきたい。

- 行政主催の行事では、啓発用冊子等の物品が団体から無償で提供されている事例などもあり、府民会議を通じて行政と連携できれば会員にとってメリットがある。

また、行政が主催した事業に参加したボランティアに行政の証明書を発行してもらえると、ボランティアの活動実績を示す証拠となり、参加する側にもメリットがある。

→（事務局）事務局としても、会員間でどんどん結びついていただきたいと考えており、ご希望がある場合は事務局に相談いただきたい。今後、事務局に相談しやすくなるよう、皆様のアイデアを聞きながら考えたい。

また、会員の皆様と大阪府、府民会議の連携も可能と考えている。

- 府民会議ホームページを見ると、「〇〇分科会」という表現になっておらず、分科会活動が見え

にくい。また、府内の全市町村が府民会議に参加するように働きかけを行っているのか。

府民会議会員には、市民団体がほとんど見られないので、さらに広がることが可能。

府民会議会員がどのような取り組みを行っているのか、具体的に見えないことから、近づきようがないという印象を受けるので、各団体の活動一覧ページを作成することが必要。

→（事務局）ホームページには分科会のリンクを張っているものの、分科会の名称を明記していないため、活動が見えにくくなっているかも知れない。

府内全市町村への働きかけはしていないが、府民会議会員と市町村がつながってほしいと考えており、大阪府市長会・大阪府町村長会に運営委員に入ってもらっており、従来はそこから市町村とのつながりが可能と考えていた。最近、単独で府内自治体が会員になっているのは、マイボトルパートナーズに自治体として参加希望されているもの。

（引き続き事務局に意見をお寄せいただき、今後も検討を継続することで、一同了承。）

#### （４）その他

事務局より、「今後の府民会議のあり方」について、今後、事務局から各運営委員にヒアリングを実施する予定であることを説明。積極的な意見をお寄せいただくよう、協力を依頼した。

### 【第２部】令和３年度おおさか環境デジタルメディアコンテスト表彰式

令和３年度の入賞作品（１６点）および入賞団体（４団体）の表彰を行った。

入賞作品は次のとおり。

デジタルポスター部門受賞作品（１０作品）

<ビジョン形式>

最優秀賞	エコな移動を始めよう！	山上 猛
優秀賞	ただこれだけ されどこれだけ	早川 琴音
優秀賞	子どもたちの未来に優しい車	田村 貞夫
大阪産（おおさかもん）賞	簡単なことから	佐藤 綾那
大阪産（おおさかもん）賞	車より、電車で。	中野 美香

<サイネージ形式>

優秀賞	小さな積み重ね	菅原 裕可里
優秀賞	どっちに住みたいですか？	小山 乃々子
優秀賞	あなたも地球を救うヒーローになれる	船本 亜美瑠
優秀賞	地産地消で地球と体に優しい生活をしよう	条 悠花
大阪産（おおさかもん）賞	マイバッグ持参が当たり前	米田 実由

動画部門受賞作品（２作品）

最優秀賞	私にもできる小さなこと。	横山 浩康
優秀賞	ああ～暑い！	せいりょう

写真部門受賞作品（4 作品）

優秀賞	チャージ中	河合 都章
大阪産（おおさかもん）賞	リサイクルの日	堀川 宗彦
大阪産（おおさかもん）賞	色を取り戻した西淀川	鈴木 章弘
大阪産（おおさかもん）賞	箕面山紫水明	湯之前 裕介

団体賞（4 校）

大阪情報コンピュータ専門学校、大阪美術専門学校、大阪府立福井高等学校、鹿児島女子短期大学

**【第3部】「万博×環境 未来を描こうプロジェクト」報告会**

次のとおり、3チームがアイデアの発表を行った。

(1) 「万博におけるプラごみ削減のための取組み」

発表者：3R班 チームメンバー 橋本碧

以下のような意見が聞かれた。

- ・デポジット制のレンタルボトルには、手ぶらで参加できるメリットがある。
- ・タンブラーのレンタルでは、利用者のセルフ洗浄以外に、返却時のスタッフ洗浄が必要。
- ・スターバックスで Re&Go というタンブラーのレンタルサービスが東京で始まっており、検討のヒントになるはず。

(2) 「SDGs GAME アイデア」

発表者：SDGs GAME 班 チームメンバー 森成諒

以下のような意見が聞かれた。

- ・ソフト系・システム系の提案は、これからの提案でも間に合う可能性が高い。
- ・博覧会協会の「TEAM EXPO 2025」に参加することも可能。

(3) 「今年度の防災活動および今後の予定について」

発表者：防災班 チームメンバー 古市優衣

以下のような意見が聞かれた。

- ・府内自治体では、賞味期限が近くなった大量の非常食を食品事業者に譲渡している。
- ・譲渡を受けた非常食は、子育て世帯などの食料支援に活用されている。
- ・防災クッキング事業は有効。
- ・容器持参の取り組みは、万博のクローズド環境では実現できる可能性が高い。
- ・防災グッズやポリ袋クッキングなど、防災に役立つ知識がさらに広がるとよい。